

講演 (15:15~16:30)

演題

「明日からできる！ 言語活動の充実が授業を変える」

指導のねらいに最適の言語活動を位置付けることがポイント！新学習指導要領における、各教科等を貫く改善の視点である「言語活動の充実」を図った授業づくりをどう進めるかを、さまざまな事例を通して具体的に解説します。

水戸部 修治 (みとべしゅうじ)

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官
 国立教育政策研究所 教育課程研究センター
 総括研究官・教育課程調査官・学力調査官



◆プロフィール

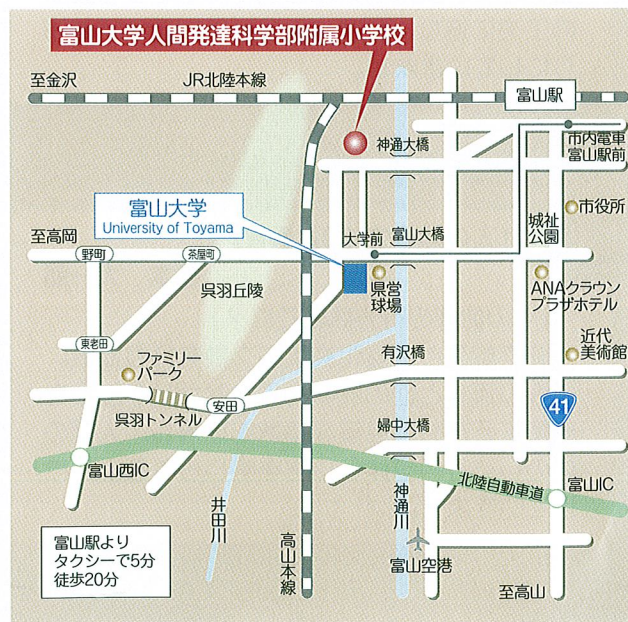
- 小学校教諭、県教育庁指導主事、山形大学 地域教育文化学部准教授 等を経て、平成20年10月より現職。
- 主著等
 「ベルリン市の基礎学校における『PISAスーツケース』の活用状況と日本版開発の可能性」(国立教育政策研究所紀要)
 「小学校国語科『言語活動』パーフェクトガイド」明治図書(2011年6月)
 「言語活動モデル事例集」教育開発研究所(2011年2月)ほか

富山大学人間発達科学部附属小学校

お問い合わせはこちら！

〒930-8556 富山県富山市五艘1300
 TEL 076-445-2803
 FAX 076-445-2802

e-mail info@fes.u-toyama.ac.jp
 URL http://www.fes.u-toyama.ac.jp



- e-mailでの事前申し込みも行いますが、当日受付も可能です。
- 資料代として、2,500円(学生1,500円)を当日受付で申し受けます。
- 自家用車の方は、グラウンドに駐車してください。
- 昼食が必要な方は、食券をお求めください。

富山大学人間発達科学部附属小学校

平成24年度 春の教育研究発表会のご案内

2次案内

よりよく思考する子どもが育つ授業の創造(4年度) ~思考の深まりと学ぶ喜び~

平成24年6月15日(金)
 午前 9:00~12:00 午後 13:00~16:45

「よりよく思考する子どもが育つ授業」の研究も4年目。今年度は、子どもたちの思考が深まっていき、学ぶ喜びを感じていく姿に焦点を当て、授業を公開します。

すばらしい講師陣とともに、自らの研修を深めることができる機会です。ぜひ、ご参加いただきますようご案内いたします。



日程

8:30	9:00	9:45	10:00	10:45	11:00	12:00	13:00	13:45	14:00	15:00	15:15	16:30	16:45
受付	開会式 概要発表 教科発表	移動	公開授業 I	移動	協議会	昼食 午後の部受付	公開授業 II	移動	協議会	移動	講演	閉会式	

公開授業 I			公開授業 II		
1-1	生活	有島 智美	1-2	図工	大島 孝明
2-2	国語	北岡 明	2-1	音楽	藤井 亜弓
3-2	音楽	村井 悠子	3-1	体育	秋盛 勇
4-1	理科	澤柿 教淳	4-1	算数	萩中 泰弘
4-2	社会	阿久津 理	5-1	社会	岩滝 修二
5-2	外国語	横山 恵	5-2	国語	松井 智史
6-1	家庭	森永 郁江	6-1	理科	橋本大一郎
6-2	算数	前田 正秀			

講演

演題
 「明日からできる！
 言語活動の充実が
 授業を変える」

開会式・概要発表・教科発表 (9:00~9:45)

概要
発表

「よりよく思考する子どもが育つ授業の創造」(4年度)

～思考の深まりと学ぶ喜び～

(本校研究部長：萩中 泰弘)

教科発表
第4学年

図画工作科「わくわく島 ビー玉アドベンチャー」の実践より

(本校教諭 大島 孝明)

公開授業 I (10:00~10:45)

1の1
生活科

「つくろうすてきなマイガーデン」

有島 智美

「どうしたら〇〇みたいになるかな」
みんなで育てた花苗や家から持ってきた花苗を、身の回りにある廃材を利用して育て、すてきなマイガーデンを考えていきます。子どもが庭全体と向き合う活動を通して、気づきの質を高めていきます。

2の2
国語科

「じゅんじょをかんがえて書こう」

北岡 明

「どの順序で書けばわかりやすくなるだろう？」
子どもたちは、自分が見つけた「おもしろいもの」を、友達に伝える文章を書きます。構成や材料の配列など、「順序」に着目することで、わかりやすく伝わる書き方について考えを深めます。

3の2
音楽科

「ドリア旋法による音楽づくり」

村井 悠子

異国の雰囲気漂うドリア旋法。音をつなぐだけで音楽になるおもしろさに惹かれ、即興的に音楽をつくっていくことでしょう。でも…。「音をつないでいるだけではつまらない」「もっとまとまりのある音楽にしたい」そう願い始めたとき、音楽の仕組みを生かしながら工夫を重ねようと動きだします。

4の1
理科

「電気の働き」

澤柿 教淳

「あれ？乾電池を1つ抜いたのに灯りがついているよ」「おや？乾電池の数が半分になったのに明るさは半分にはならないよ」
並列回路に潜む矛盾に立ち止まり、その矛盾を矛盾でなくそうと、実証的に検証しながら新たな概念を作り上げることを大切にします。

4の2
社会科

「わたしたちの生活とごみ」

阿久津 理

「ごみはどのように処理されるのだろう」
自分たちが出したごみを、誰がどこで処理するのか、どんな思いでいるのかを調べていく中で、市民と行政の協力の在り方を考えていきます。子どもが自ら「豊かな生活」について価値判断を行っていきます。

5の2
外国語活動

「好きなものを伝えよう」

横山 恵

「友達の好きなものを英語で尋ねてみたいな」
好きなものを英語で尋ねる表現に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを楽しみます。普段よく聞く外来語と、そのもととなる英語の音の違いから、言葉の面白さに気付いていきます。

6の1
家庭科

「暑い季節を快適に」

森永 郁江

「どのような着方をすれば暑い夏を快適に過ごせるのだろう？」
着ている衣服の観察や実験を通して、衣服の形や着方、つくりや働きについて理解を深めていきます。暑い季節を快適に過ごす着方を、自らの家庭生活に生かそうとしています。

6の2
算数科

「対称な形」

前田 正秀

「ぴったり半分に分けられる線は1本だけかな？」
図形を半分に分ける線を探していく中で、1つの点が浮かび上がってきます。「あれども見えず」が見えてくること。それが図形の感覚の深まりです。

公開授業 II (13:00~13:45)

1の2
図工科

「たんじょう!べっとり きらのすけ」

大島 孝明

「スライムのべたべたした感じや透き通った色などの特徴を生かした生き物をつくろう」
透明アクリル板にどろりと垂らしてできたスライムの不定型な形から発想して、楽しい生き物をつくりまわす。光の効果に注目することで、透過性素材の美しさや面白さを感じていきます。

2の1
音楽科

「ききあいながら たのしくたおう」

藤井 亜弓

「どのように歌えば、よびかけ合っているように聞こえるかな？」
「問い」と「答え」、それぞれの部分の歌い方を、思いをもって工夫していきます。友達と声を合わせて歌うことによって、「問い」と「答え」の働きに気づき、音楽の面白さを感じ取っていきます。

3の1
体育科

「小型ハードル走」

秋盛 勇

「どれだけ上手になったのか、確かめたいな。友達と競走したいな」
基礎的な「動き」を楽しみながら身に付け、それから波及する自分の伸びを感じ、競走に挑戦することによって、運動の楽しさにふれます。

4の1
算数科

「四角形をつくろう」

萩中 泰弘

「どのような四角形でもかけるのだろうか」
平行四辺形、台形はかけるけど、不等辺四角形はどうなるか。図形の性質や図形を構成する辺や角など既習に着目して考えながら、それぞれの四角形の対角線のきまりを見付けます。

5の1
社会科

「わたしたちの生活とお米」

岩滝 修二

「どうして、東北地方や北海道地方は米づくりがさかんなのだろうか」
施設や技術などの面から、富山県と比較することで、質のよい米を届けようとする農家の工夫に迫り、現在抱えている問題を浮き彫りにしていきます。

5の2
国語科

説明のしかたについて考えよう 「天気を予想する」

松井 智史

「天気を予想するとき大切なことは何だろうか？」
文章の構成や図・表・グラフを用いた説明の仕方など、表現の工夫に着目することで、文章の内容を的確に押さえながら、筆者の意図にせまります。

6の1
理科

「人の体のつくりと働き」

橋本 大一郎

「その血液の行方はどこに？」
肺で酸素と二酸化炭素の交換を行う血液。血液の流れと他の臓器とのつながりや生命を維持するための見事な連携を理解し、人間の体のしくみのすばらしさを感じられるようにしていきます。

